

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2005-530888(P2005-530888A)

【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-515676(P2004-515676)

【国際特許分類】

C 09 D 125/12 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 09 D 125/12

C 09 D 5/02

C 09 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月15日(2006.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

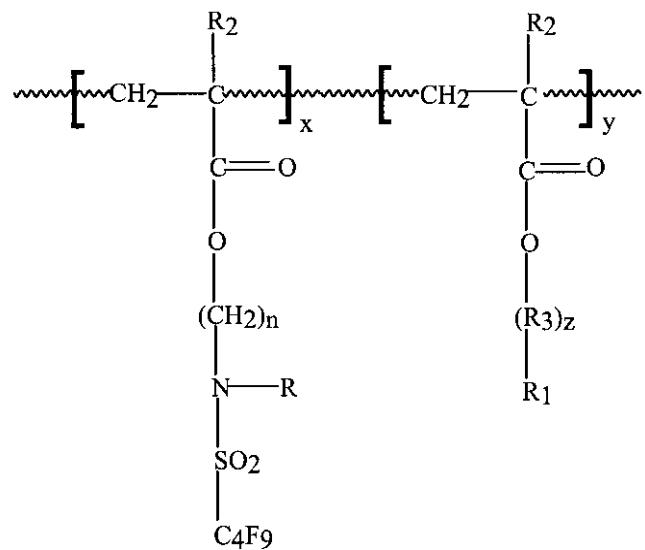
【請求項1】

(a) スチレン、メチルスチレン、ビニルまたはそれらの組み合わせから誘導された単位および1種以上のアクリレート、メタクリレート、アクリロニトリルまたはそれらの組み合わせから誘導された単位を含むインターポリマー化単位を有するポリマー、(b) 隠蔽顔料、(c) 非セルロース系増粘剤および(d)(1)ヘプタフルオロプロパンスルホンアミド部分、ノナフルオロブタンスルホンアミド部分、ウンデカフルオロペンタンスルホンアミド部分およびトリデカフルオロヘキサンスルホンアミド部分からなる群から選択された少なくとも1個のペーフルオロアルキル部分と(2)少なくとも1個のアルキレンオキシ部分を含む少なくとも1個のポリオキシアルキレンブロックを含むフルオロケミカルアクリルポリマー添加剤少なくとも約0.05質量% / 体積を含むラテックスペイント組成物であって、前記フルオロケミカルアクリルポリマー添加剤が前記フルオロケミカルアクリルポリマーの全質量を基準にして約5~約30質量%の炭素に結合された弗素を含み、前記ラテックスペイント組成物が少なくとも20%且つ臨界顔料体積濃度未満の顔料体積濃度を有するラテックスペイント組成物。

【請求項2】

前記フルオロケミカルアクリルポリマー添加剤は、次の一般式:

【化1】



(式中、

【化2】

~~~~~

は重合性鎖またはポリマー鎖中の結合を表し、

R、R<sub>1</sub>およびR<sub>2</sub>はそれぞれ独立して水素または炭素原子数1～4のアルキルであり、R<sub>3</sub>は、互いに連結され2～6個の炭素原子を有する少なくとも1個以上の直鎖または分枝のアルキレンオキシ基、あるいは12～20個の炭素原子を有する直鎖または分枝のアルキレン基であり、

nは2～10の整数であり、

x、yおよびzは少なくとも1の整数である)

によって表されるポリマー添加剤から選択される、請求項1に記載のペイント組成物。